

1. 活動の概要

6月10日(火)、出雲市立荒木小学校で『心に残る文化財子ども塾』を開催しました。テーマは「奈良の大仏作りにかける思い」です。

まず、大仏作りの映像を見て、奈良の大仏がなぜ造られたのか、聖武天皇の思いとは、作業に当たった人々の生活や苦労、完成した大仏の姿などを学習しました。その後、奈良の大仏の等身大パネルをクラス全員で組み立てました。最初は戸惑っていた子ども達ですが、チームワークを発揮して土台から大仏を組み上げていきました。わずかな隙間などを全員で直し、完成させることができました。完成後は、児童は2階に上がり上から大仏を眺め、質問や感想を述べました。

大仏の手の形の意味や髪型、服装など疑問が数々湧いてきました。パネルを組み立てている時はじっくり観察できありませんでしたが、完成後大仏の大きさが改めて感じられたようです。

できあがった後は組ごとに大仏パネルを背景として記念撮影を行い、全員の思い出となったようです。

1組が終了後、2組が同じメニューを再び実施しました。2組も同様に大仏作りを学び、一生懸命体験しました。両クラスとも抜群のチームワークだったと思います。

2. 活動の様子

1)大仏づくりと当時の様子を学ぶ



教科書と見比べながら大仏の学習



全員でじっくり視聴しています

2)古代体験活動～大仏パネルづくり～



チームワークを発揮しています。



「上から見ると大仏って大きいね。」

3. 子ども塾を終えて

1)児童の皆さんから…

- 大仏を造った年月や造り方などが映像でわかりやすかった。
- 大仏の大きさが上から見るとよくわかった。
- 自分で動いて大仏が作れたので良かったです。
- 本物の奈良の大仏を見たいです。
- 大仏を造る時、何段にも分けて銅を流すことがよくわかった。

2)担任の先生から…

- 本だけでは実感できない大仏の大きさが、パネルを組み立てることで体感できたことはとても良かったです。
- 映像での学習もあり、子ども達はとても意欲的に興味を持って取り組み事ができました。
- 時間的に厳しいとは思いますが、ワークシートなど書く活動があると良いと思いました。

3)埋文センターから

- 2 クラスともチームワークを発揮し大仏作りがすばやくできました。色々な質問がでて、よく観察できたようです。
- 1 クラス目が若干時間が休み時間まで延びてしまったので、その点は改善すべき課題だと思います。また、体育館の2階の窓が大きく、カーテンを完全に閉めないとDVDの視聴が若干しづらいなどの点も事前に確認できていればスムーズに実施できたと思います。